

「精神病性障害の遺伝子解析研究」および「気分障害の遺伝子解析研究」 における試料の使用について

・ 研究の対象

統合失調症の患者さん、気分障害の患者さん、および健常者のうち、研究に同意して下さった方を対象に病気のリスクや症状・障害、薬の反応性などに関連する遺伝子を探索する研究をしています。「ヒトゲノム・遺伝子解析研究の倫理指針」に準拠した研究計画書を作成し、倫理委員会の承認を受けて行っています。

・ 方法

「精神病性障害の遺伝子解析研究」では、ドーパミン神経系を制御する蛋白をコードする遺伝子、神経栄養因子などの神経系の分化・可塑性に影響を与える因子やそのシグナル伝達に関連する蛋白をコードする遺伝子、神経ペプチドをコードする遺伝子などを候補として検討を行うほか、多数の遺伝子を一度に解析できる遺伝子チップを用いた解析も行っています。「気分障害の遺伝子解析研究」では、モノアミン神経系を制御する蛋白をコードする遺伝子、神経栄養因子などの神経系の分化・可塑性に影響を与える因子やそのシグナル伝達に関連する蛋白をコードする遺伝子、気分と関連が強いとされる神経内分泌系を制御する蛋白や神経ペプチドをコードする遺伝子などを候補とした検討を行うほか、チップによる検討も行っています。

・ 研究に参加された方で疑問などございましたら下記にご連絡下さい。

平成 22 年 1 月

連絡先

〒 187-8551 東京都小平市小川東町 4-1-1

国立精神・神経センター

電話：042-341-2711（代表）

担当者：疾病研究第三部 功刀 浩 (hkunugi@ncnp.go.jp)

苦情等の窓口：倫理委員会事務局 e-mail：rinri-jimu@ncnp.go.jp